

大 気 球 特 集 号

大気球専門委員会

委員長 河 村 龍 馬

わが国の気球による科学観測計画の中核体として、宇宙航空研究所に大気球専門委員会が組織されて以来すでに3年を経過し、昭和41,42両年度には、茨城県鹿島郡大洋村等の基地において気球観測実験を実行した。この間、関係者の熱意によって、昭和42年度には気球観測が宇宙研の担当する特別事業の一つとして正式に予算化され、これにともなって観測実験も順調に成長しつつある。現在、年間放球数は20~30におよび、気球容積も最大3万立方メートルに達している。これらの研究活動の成果はすべて公表すべきものであり、この特集号にはすでに研究の完了したものについて5篇の論文（工学：2, 科学：3）が集録してある。実験経過の概要や未完了の研究の中間的報告については、すでに発表されている“大気球シンポジウム”議事録を参照されたい。

1968年2月15日